

中学校区におけるめざす子ども像
健やかに成長する児童・生徒 表現力豊かな児童・生徒

R7年度 重点目標
支えあい 学びあい 信頼しあう学校づくりの推進
・人権を尊重し、誰もが安全で安心して過ごすことができる居場所となることを実現する
・自ら学びをすすめ、個別最適な学びの充実となるよう、授業改善に取り組む

確かな学びの現状
「授業が大事」という合言葉のもと、教員の指導改善および生徒の学習改善に取り組んでいる。基礎・基本的な内容の定着、生徒が自ら問いを立てる探求的な学び等、今後、生徒が主語となるような授業をさらに推進するために、授業規律を高め、ICT機器の効果的な活用や言語活動の充実を図る。

豊かな心・健やかな体の現状
爽やかなあいさつを生徒が多く、学校行事や学級活動・部活動にも責任感かつ思いやりを持って取り組む姿を多く見かける。これからも生徒が社会の中で自分らしく生きることができる存在となるよう、人権感覚を豊かにし、自発的・主体的に成長や発達する過程を支えていくことに努めたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	達成状況(年度末)			
							A:基準を上回っている B:概ね基準に達している C:基準を下回っている D:基準を著しく下回っている			
							自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	総合的な学力の育成	・自分の考えを伝えたり、周りの意見を聞くなど、互いに高めあうことができる。	●授業中の学びの雰囲気ができるか ★主体的に学習に取り組んでいるか	・授業は、学ぶ雰囲気ができている75%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・3年生では、肯定的な回答率が約74%であった。	B	B
			・普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられているか	・先生の説明を聞くだけでなく自分の考えを発表したり書いたりすることが多い70%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・3年生では、肯定的な回答率が約71%であった。	B	B
	授業改善	・主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 ・平井中UDスタンダードの定着	・生徒の学びを深めることができるような授業改善のための研修(研究授業・スキルアップ研修)等を実施する。	・学校の授業はわかりやすい80%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・3年生では、肯定的な回答率が約86%であった。	B	B
			・ICTを活用したわかりやすい授業がおこなわれている ・生徒用PCを授業で活用することができる	・授業では、生徒用PC端末を活用する場面がある ・アンケートによる肯定率	学校教育アンケート CBT	3学期	A	・3年生では、肯定的な回答率が約91%であった。	A	A
豊かな心・健やかな体	仲間づくり	・授業・行事・部活動などあらゆる場面で、生徒の自尊感情・自己肯定感を高められるよう集団づくりをすすめる。 ・ルールを守り、互いに協力するなどの規範意識を向上させる。	●「自分によいところがある」と思える生徒の割合が増加したか	・自分にはよいところ(長所)があると思う75%以上	学校教育アンケート	3学期	A	・3年生では、肯定的な回答率が約91%であった。	A	A
			・学級集団づくりを深め、自己肯定感を高める	・学級に居場所がある 90%以上 ・学級内での自分の役割など責任をもってやっている 90%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・3年生では、肯定的な回答率が約93%であった。	A	A
			・キャリア教育を充実させ、生徒が自らの将来について展望を持ち、進路選択ができるようにする。	・将来の夢や希望を持っている70%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・3年生では、肯定的な回答率が約70%であった。	B	B
			★いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けて、教育相談の実施や職員研修を行う。	・いじめはどんな理由があってもいけないと思う。肯定率100%	学校教育アンケート	3学期	B	・3年生では、肯定的な回答率が約98%であった。	A	A
			★あいさつを奨励し、社会性を身につけさせる	・友達や先生にあいさつをする 90%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・1、2年生では肯定的な回答率が約89%であった。	B	B
地域協働	信頼される学校	・平井中学校区(平井中学校、久世小学校、深阪小学校)と泉ヶ丘学院による連携・協働を意識した活動を行う。	・学校評価会議での評価 ・学校だよりの発行 ・地域やPTA活動に積極的に参加している50%以上 ・小中連携が円滑に行われている 80%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・PTA活動や学校行事等への参加に関する肯定的な回答率は、57.5%であった。・夏季合同研修や小中交流会などの小中連携の取組の必要性に関する肯定的な回答率は、85.5%であった。	B	A	
			・こどもの広場の応援 ・学校ホームページでの情報公開	・学校HPへのアクセス数 ・学校だよりの発行	実績回数	年度末	A	HPへのアクセス数が毎日約300件あり、保護者連絡アプリで情報の補完を行っている。学校だよりは毎月発行し、地域に配付している。	A	A

校長より(年度末)
今年度も、「授業を大切にすること」および「いじめの防止」について、重点的に取り組んだ。ICTの活用することについて、個別最適な学びにつながる授業改善に成果が見られた。探求的な言語活動等の充実についても取り組んでいる。行事等において仲間づくりを深め自己肯定感を醸成するという、本校の生徒の長所をこれからも、のばしていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
高校入試、地域活動、不登校、特別支援教育、部活動、キャリア教育等、多岐にわたることがらについて、学校から説明を受けた。生徒が明るく前向きに授業に参加している様子を見学することもできた。